

体験学習をどうぞ 025

2023. 1. 21 (土)

【中学 1 年数学】

方程式

速さの問題 鉄橋・トンネルの問題(速さを求める)

きょうの体験問題です。

家と駅の間を往復するのに、行きは15分かかり、帰りは行きの速さよりおそくしたので20分かかった。行きも帰りも一定の速さで歩いたものとして、次の問いに答えなさい。

- (1) 行きの速さを毎分 x m として、家と駅間の道のりを x を使って表しなさい。
- (2) 帰りは行きの速さより毎分 20 m だけおそくした。このとき、家と駅間の道のりを求めなさい。

原則 = 合計量を求める等式を作る

方程式では、一般に、問題文に合計量が与えられている問題では、その合計量を求める等式を作ります。

合計量がないときはどうする？

すると、合計量が問題文に与えられていない問題というものもある、ということです。それが、この問題です。

等置法で等式を作る！

そういう場合は、距離とか時間とか速さなどが2通りに表せますので、その2通りに表した量を等号で結び、等式を作ります。これを「等置法」といいます。

この問題では速さを x にせよ、としていますし、時間が数値で与えられているので、 x を使うと距離を2通りに表すことができます。これらを等号で結んで等式を作ります。

 x が答でないときがある！

x が答ではありません。
+アルファ処理が必要です。
算数で、距離を計算します。

速さが x のときの式の立て方(まとめ)

速さが x に指定されたときは、
問題文で与えられたデータに応じて、距離を等置するか時間を等置するかを決めます。

■演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導を受けることができます。



中1 数学・方程式 No.26s

2 速さの問題 (その3)

体験学習

■ 特別な考え方が必要な問題 (速さを求める) ■

■「中1 数学・方程式」★学習計画書★

([ブラウザのバック矢印](#)でこの文書に戻ることができます。)

方程式に強くなる数学専門指導の数専ゼミ

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp